

日本大学三島高等学校 同窓会会報 第40号



「同窓生の力～
新たな50年の
始まりとともに～」

会長 今井 信之

第1期生（沼津市在住）

昨今のニュースは、日本の政治・経済の混乱ぶりや社会不安の話題が目立ちます。そのような中でも最近では、少しずつ上向きになりつつある日本経済の状況や昨年、海外で活躍する2名の日本人が獲得したノーベル賞受賞の話題がのぼるようになり、これからの日本にも明るく期待を持つことができるようになってまいりました。

日本大学三島高等学校同窓会は、昨年、めでたく設立50周年を迎え、記念式典を盛大に無事に実施することができました。この式典には静岡県東部地域を支える近隣の首長やスポーツ界をはじめ、各方面で活躍する同窓生に参加していただきました。その姿は5万人を超える同窓会の規模の大きさと結束力の強さを示したものであり圧巻でした。これからさらに100周年に向かって、同窓会も若い同窓生の参加を促しながら、新たな活動に取り組んでまいります。

ところで、昨年、私は同窓会支部活動に参加する機会にめぐま

れ、数多くの支部総会に出席しました。その様子をうかがうと50周年記念行事を支部合同で実施したり、広範な範囲の同窓生をまとめる支部があったり、地域おこしに成功しているB級グルメを活用しながら地域社会に根ざした個性ある独自の活動を展開している支部など活発な活動を行っています。今後も同窓会支部活動を積極的に支援するとともに、地域で活躍する同窓生の姿を同窓会ホームページや会報に紹介し、新たな同窓会活動として発展させてまいります。

第51期生同窓生を迎える時期となりました。100周年に向けた第一歩を記す新入会員の皆様には「感謝の気持ちをもつこと」をメッセージとして送ります。感謝の気持ちをもつとは、人に愛されること、人の役に立つこと、人に必要とされることの3つがあります。同窓会では、新たに同窓生となり社会での活躍を期待される皆様に温かく迎えるとともに同窓会活動への参加をお願いいたします。

母校日本大学三島高等学校では、新校舎の全てが完成しました。4月からは生徒全員がこの校舎に入り、旧校舎は取り壊しとなります。母校に一度足を運び、新しい環境を見学するとともに、古き良き思い出話に花を咲かせてみてはいかがでしょうか。

最後に母校の発展を祈り、同窓会員の皆様のご多幸を祈念するとともに、同窓会活動に対するますますのご支援をお願いいたします。



総会であいさつする今井会長



同窓会入会式でのあいさつ



母なる「絆」 として、同窓力

校長 仁藤 芳治

第51期卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

日本大学三島高校は、平成21年度に創設50周年記念式典を無事終えました。皆さんは新生日大三島高校の第一期生であり、第51期生として入学されました。本校の新たな歴史のランナーでありました。

そして今、5万余名の同窓の仲間入りをされました。榮譽あるメンバーとなった事は誇りであります。

これからは、校訓である「自由と規律」そして日本大学の掲げる「自主創造」の精神を具体的に発揮し、生きる力として下さい。その意味では、母校が人生の基盤です。

そして、同窓生として日本大学三島高校の発展を見守り、より大きな眼力を以て母校を支援して戴きたいのです。

母校を持つという事は、同窓生としての使命感を持つという事でもあります。

今日まで代々、卒業生は同窓の絆をバトンし続け、同窓会を支えて来られました。母校愛という高邁な無私の精神によって同窓会を大きく育て、母校の発展とともに歩んで

きたと、確信いたします。

仲間がいたから頑張れた、友人がいたから楽しかった。チームを組むことは力を数倍にも高めてくれます。多くの行事やクラス生活、部活動の中で実感したはずで。

同じ教育環境の学校で学んだ事、苦しんだ事、乗り越えた事は、一生持続する活源となるはずで。

同窓の「絆」の力は、同窓力としてネットワーク社会に活かされる事は、間違いのないところであります。

やがて、いつか、懐かしく、青春時代の共有の思い出が輝きます。その時こそ、アルバムの1頁を開き合い、語り合う、それが無常の喜びでありましょう。

厳しく混沌した社会に船出する皆さんを、一面心配もするのですが、皆さんは「青は藍より出でて藍より青し」という諺を実証しなければなりません。本校の教育の歴史は、同窓生の活躍に比例するものであるからです。そして、それは、何よりも皆さんの今後のたくましい人生によるものでもあり、その期待は限りなく大きいからです。

今後も、本校の教育方針は、「志」と「思いやり」と「チーム力」を伝え続けることにあります。

本校の教育現場に期待するところは、「基礎的学力」と「人間力」、そしてそれらを叶えるエンジン力、つまり「意欲」強い「意志」そのものであります。

本校は、意欲を継続し、「信頼関係」を構築しなければならないからです。

また、いつかこの母校に立ち戻ってくれることを楽しみに、前途洋々の君たちの人生を祝福いたします。

新校舎の完成 ～変わりゆく日大三島～

平成20年から始まった新校舎の建設も第2期工事を終え、いよいよすべて完成しました。すでに1期工事終了後の平成21年9月から一部完成した校舎(A・B棟)に高校3年生が入り、学び舎としてきました。音楽室や美術室、情報室なども移ってきたため、中学生や高校1・2年生は授業のたびに校舎と行き来をして、たいへんな思いをしてきましたが、今回、す

べての校舎が完成(C棟)したことで、不便もなくなり、快適な環境のもとで、勉強や生徒会活動などができるようになります。

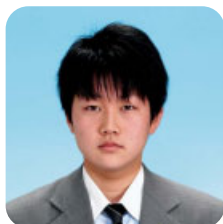
これから古い校舎は順次取り壊しとなり、部室棟の建築や跡地の整備に入ります。同窓生の皆様、次の100周年に向けて変わりゆく母校の姿を見に学校を訪ねてみませんか。



C棟完成（左側4階建ての建物）



記念講演より



新入会員の言葉

「伝統ある同窓会に入会する」

生徒会長
及川 健太

寒い日々の中にも春の訪れを感じることでできる季節となりました。

さて、本校では創設50周年を迎えた記念として建設が進められた新校舎が、いよいよ完成し、今年度末に竣工します。長い50年の歴史とともに本校を見守り、支え続けた旧校舎が役目を終え、新校舎へ青春の場を移します。しかし、本校に高校生の青春の息吹が絶えることはありません。さらに新校舎とともに高校生としての自覚を高めあうことのできる環境で本校の発展を遂げることに希望をもちます。

最後になりましたが、私たち51期生は卒業と同時に日本大学三島高等学校同窓会に入会させていただくことになりました。

この50年の中で培われてきた日大三島の良き伝統と秩序を守り、精一杯、卒業生として尽力することをここに誓い、新入会員の言葉とさせていただきます。



同窓会入会式でのあいさつ



新入会員を迎える

「皆さんへ」

第35期生
塩谷 雄一郎

第51期生となる卒業生の皆様に、心よりのお祝いを申し上げます。本校での3年間を顧みて、それぞれの胸に去来するものは、そうたやすく言葉になるような世界ではないだろうと思います。真実の過去とは、まさにその人だけに与えられたものであり、それが人生だと思っています。ただひとつだけ申し上げたいことは、過去を誇れる人は、幸福であるということです。

皆さんは、若いのです。明日に向かってエネルギーを蓄え、何事においても、そのエネルギーを用い、局面に立ち向かってほしいと願っております。人生のなかでは、苦しいこと、悩むこと、それぞれにとって容易には、解決できない場面も出てくることでしょう。そのときに、友人の助けや自らの培った経験により、より良い方向へ自分を動かしていくことが可能になると思います。年老いてからは、そのエネルギーも無いですし、さらに皆さんには、今のこの人生を、もう一度そっくりそのままくり返してもかまわないという生き方をしてほしいと願っています。己を無駄にすることなく、日々そのものを学びのときと考え、生きぬいてください。第51期生の皆様の輝かしい未来を願います。

同窓会入会式・記念講演

平成23年2月19日(土)

同窓会入会式を母校8号館講堂にて行い、第51期生718名を迎えました。入会式では同窓会長による新入会員への歓迎のあいさつがあり、卒業記念品を贈呈しました。また同窓会表彰規定により奨学金を上島優君、木村匠君、峰田留理さんの3名に渡しました。また部活動などの顕著な実績を認め、杉山沙侑南さん(水泳部)と久松美穂さん(ボウリング)の2名に奨励金を贈りました。

入会式後の記念講演は、講師に読売新聞記者などジャーナリストとして活躍され、現在、日本大学国際関係学部特任教授である北岡和義氏をお迎えして実施しました。タイトルは『青年は荒野をめざす』。生徒は興味深く、熱心に聞き入っていました。

第51期生 幹事一覧

代表幹事 及川 健太(13組)

クラス 幹事

1組 青野 真行	11組 泉谷 展広
2組 岩田 圭史	12組 畠山 晃穂
3組 大高 吾朗	13組 及川 健太
4組 高橋 亜弥	14組 久保 健太
5組 山村 有美	15組 山田 雄斗
6組 田中 郁絵	16組 手嶋 雅人
7組 小林 真華	17組 原 鷹治
8組 勝俣 徳洋	18組 池田 慶介
9組 篠原 慧子	19組 瀬戸 僚太
10組 長谷川 隼也	20組 秋山 幸慶

同窓会総会 平成22年10月22日(金) 於 三島プラザホテル

同窓会総会を平成22年10月22日(金)に三島プラザホテルにて開催した。総会は会長あいさつに始まり、平成21年度の活動報告・決算、平成22年度計画・予算などが承認されました。またご来賓として日本大学国際関係学部長佐藤三武朗先生、母校校長仁藤芳治先生をお招きし、お話しに聞き入りました。

懇親会では、会長のあいさつや還暦を迎えられた方々への記念品贈呈などがあり、和やかに進みました。毎年恒例となっている空くじのなしのくじ引き大会では、裾野支部が企画し、ご当地B級グルメでも有名な「すその水餃子」をはじめとした景品で地元のPRをしながら大いに盛り上がりました。なお、議事については、事業報告をご参照下さい。



同窓会役員一覧

役 職	氏 名	支部長	氏 名
会 長	今井 信之 (1期)	三 島	渡邊 昌宏 (11期)
副 会 長	渡邊 博夫 (2期)	沼 津	手島 正武 (3期)
//	川口 功一 (3期)	田 方	内田 敏明 (3期)
//	藤幡 俊量 (11期)	裾 野	眞田 正義 (1期)
副会長・女子部会長	石橋 倍子 (4期)	御殿場	高杉 忠 (1期)
幹 事 長	庄司 一洋 (7期)	富 士	日置 信弘 (3期)
副幹事長	山本 弥之 (4期)	富士宮	深澤 好幸 (7期)
//	鈴木 真雄 (14期)	静 岡	小澤 薫 (9期)
会計監査	永井 嘉大 (2期)	熱 海	谷口 俊司 (2期)
//	柳田 和夫 (10期)	小田原	川口 功一 (3期)

平成22年度 事業報告 (平成21年10月総会～平成22年10月)

1. 総会 平成22年10月22日(金) 三島プラザホテル

- (1) 会長挨拶 同窓会会長 今井信之
- (2) 来賓挨拶 日本大学国際関係学部長 佐藤三武朗
日本大学三島高等学校・中学校校長 仁藤芳治
- (3) 議事
 - ① 平成21年度事業報告 ② 平成21年度決算報告
 - ③ 役員改選 ④ 平成22年度事業計画
 - ⑤ 平成22年度予算
- (4) 懇親会

2. 幹事会・役員会

- (1) 平成21年11月17日(火) 母校新校舎会議室 幹事会
- (2) 平成22年 1月25日(月) 母校新校舎会議室 幹事会
- (3) 平成22年 2月12日(金) 母校14号館1階 旧事務課
幹事会及び入会式準備
- (4) 平成22年 3月19日(金) 割烹「高田屋」幹事会及び
反省慰労会
- (5) 平成22年 5月10日(月) 母校新校舎会議室 幹事会
同窓会設立50周年記念行事関連事項について
- (6) 平成22年 7月22日(木) 母校14号館1階旧事務室三役会
- (7) 平成22年 9月 9日(木) 母校14号館1階旧事務室幹事会

3. 事業

- (1) 平成22年 2月20日(土) 母校8号館3階
 - ① 第50期生同窓会入会式
奨学金 林 怜華(3-19) 西村公太(3-19)
奨励金 山下 寛(3-7) 囲碁将棋部
 - ② 同窓会設立50周年記念式典 母校8号館3階
栄誉賞代表 山本 昌邦氏
特別功労賞 久保田 光氏(前会長)
功労賞代表 高木 弘之氏(第1期代表幹事)

③ 記念講演会 講師:山本 昌邦 「夢をもって生きて行こう」

④ 祝賀会

(2) 平成22年 3月1日(月) 同窓会会報発行 第39号

4. 支部総会(開催順)

- (1) 小田原支部
総会 平成22年 3月27日(土) 魚がし
- (2) 女子部
総会 平成22年 5月16日(日) 母校桜陵祭
- (3) 三島支部
総会 平成22年 5月21日(金) 日本大学国際関係学部
15号館 パノラマラウンジ
- (4) 静岡支部
総会 平成22年 6月 4日(金) ホテル プリヴェ
静岡ステーション
- (5) 富士支部
総会 平成22年 6月18日(金) ベアーステージノイ
- (6) 沼津支部
総会 平成22年 6月22日(火) ブラッスリー銀座ライオン
- (7) 御殿場・小山支部
総会 平成22年 6月25日(金) ホテル御殿場館21
- (8) 田方支部
総会 平成22年 9月25日(土) 伊豆洋らんパーク
- (9) 裾野支部
総会 平成22年10月16日(土) 勢力

5. その他

- ① 同窓会ゴルフ大会 平成22年 5月23日(日)
朝霧カントリークラブ
- ② 同窓会ゴルフ大会 平成22年10月24日(日)
朝霧カントリークラブ

ひと ～活躍する同窓生を紹介します(第1回)～

鈴木吉兵衛(12期)氏
小田原支部

会報の企画の一つとして、今回から活躍する同窓生と題し、地域に根づいて活躍する同窓生を紹介していきます。第1回は小田原支部から。(株)美濃屋吉兵衛商店代表取締役社長で、現在、小田原箱根商工会議所会頭の鈴木吉兵衛(12期生)さんを紹介いたします。

上場1部の大企業や銀行から一個人の商店まで約3400社が入り、商業・工業・金融など7部会に分かれる小田原箱根商工会議所。その役割は、商工業者や零細企業の支援から簿記検定・珠算検定・各種セミナーの主催、また国や県などの行政との連携や調整など、多種多様で、かつ人々の生活全般に関わる重要なものです。そのトップということは、時に市長たちと並び陳情を行うなど、首長クラスまたはそれ以上の存在感であると言えるでしょう。「スケジュールを組むのが得意である。」という鈴木さん。非常に忙しい仕事の合間をぬって、同窓会小田原支部川口功一(3期)支部長の協力をえて、取材に応じいただきました。

小田原で2番目、400年という長い歴史を歩む美濃屋吉兵衛商店。お名前の「吉兵衛」とは、厳しい情勢の中、会社の盛り上げていくために襲名の方がよいという「榮太樓總本舗」の会長よりアドバイスをいただき、改名したとのこと。現在の動きをよく分析されている様子で、よりよい商品を作り、他との差別化をはかっているとのことでした。

最後に若い人たちへのアドバイスとして「夢のようなことでも実現できることがある。実現できそうなことでも夢に終わることがある。理想を追い求め走ると失敗すること。つまり見極める力を養うことが大切であり、若い人たちにはもっと勉強して欲しい。」という言葉をいただきました。歴史と伝統を守る家の代表ならでは発言であり、たいへん重みのある言葉でもあります。

今回の取材を通じて、5万人を超えた同窓会ですから各地域で活躍されている方がたくさんいることがわかりました。諸先輩方からアドバイスをいただき、取材を行い、少しずつ紹介していきます。(T)



左が小田原箱根商工会議所会頭
鈴木吉兵衛(12期)氏、
右が同窓会小田原支部川口功一(3期)支部長

同窓会支部を訪ねる ～富士支部の活動報告～

同窓会HPを見ますと富士支部の活動の様子が定期的に報告されています。支部総会をはじめ独自の活動を行っている富士支部の状況を取材してきました。

同窓会富士支部の発足は昭和47(1972)年。その後、同窓会活動の活性化を図るため、平成15(2003)年から組織の再構築を進め、翌16年、臨時総会さらに第1回支部総会を開催しました。現在、日置信弘(3期)支部長を中心に年1回の総会・親睦会(忘年会や箱根駅伝観戦ツアー)などの活動をしています。支部総会には常に100名以上の同窓生が集まり、平成17年には日本大学校友会静岡県支部富士桜門会との共同で「日大リズムソサエティーオーケストラ in ロゼ」を企画・実施し、成功を収めるなど活発な活動をしています。

今回、特に注目したのは同窓会設立50周年を迎え、合わせて記念パーティーを開催。女子部会と合同で「二胡ディナーショー」を企画し、同窓生である松原祐介さん、河野豊さんの協力をえて演奏会を実施、大いに盛り上がり大成功を収めました。

日置支部長は、「同窓会規約の目的の中に会員相互の親睦と融和を図り、母校の発展興隆に寄与することとある。今回、女子部会長の石橋さんの協力をえて、合同で企画できたのは、このような目的も関係している。」と述べ、「私の周りにいる協力者のおかげで現在のような取り組みができています。」とも語っています。

今回の取材で「お前も日大三島の卒業生だったのか。」との声があったという言葉の中にこの地域で活躍する同窓生が多いことと、同窓会活動の中で大切なことは人のつながりであるということを実感しました。(T)



箱根駅伝観戦ツアー

短 信
— 訃報のお知らせ —

同窓会本部役員として、長年、幹事長を務めていました瀧口文昭(6期)氏がお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りいたします。

ご定年によって退職される先生方



堀内 政利 先生

- 奉職年 : 昭和45年
- ご退職年月日 : 平成22年6月24日
- 教 科 : 英語
- 主な校務 : 保健衛生・生徒会指導・教務
- 趣 味 : 将棋・音楽
- 部活動の顧問 : 英語部・演劇部・茶道部



石橋 勝好 先生

- 奉職年 : 昭和45年
- ご退職年月日 : 平成22年7月28日
- 教 科 : 地歴・公民（日本史）、工業科（電気）
- 主な校務 : 進路指導・生活指導
- 趣 味 : 旅行
- 部活動の顧問 : 囲碁将棋部・電気部



藤池 年男 先生

- 奉職年 : 昭和43年
- ご退職年月日 : 平成23年1月25日
- 教 科 : 保健体育
- 主な校務 : 教務・保健衛生
- 趣 味 : スポーツ
- 部活動の顧問 : 男子バレーボール部

日本大学三島高等学校
同窓会規約

第一章 緒言

- 第一 条 本会は日本三島高等学校同窓会と称する。
- 第二 条 本会の事務所は、これを日本三島高等校内に置く。
- 第三 条 本会会員は、日本大分三島高等学校の卒業生をもつて正会員とし、現教職員および元教職員をもつて特別会員とする。
- 第四 条 本会は、母校校の精神にのっとり会員相互との親睦と融和を図り、母校の発展興隆に寄与することをもつて目的とする。
- 第五 条 本会は、前目録の達成のために左の事業を行なふ。
- 一、会員相互の親睦と融和をはかるための各種行事、
- 二、校友会を設立し、その活動に協力する事、
- 三、参入

第四節 事務局

- [illegible]

- 第六條 本会は、事業遂行のため左記の機関を置く。
- 一、総会 二、幹事会 三、支部会 四、事務局
五、編集委員会
- 第一節 総 会

最高会

- 第七條 總會は、本會の最高決議機關と爲る。總會の議事は出席會員の過半数によつてこれを決する。但し、必要と見ゆる各支部を代表する支部長をもつて、總會の決議にかゝることを得る。
- 第八條 總會は、本會運営について立案実行の一切の事務を幹事會に委嘱する。
- 第九條 總會は、四月一日より翌年三月三十一日までの年度一回、會長これを招集し、幹事會、會計監査會の所管事項を報告を招集し、但し、緊急を要する事項に關し、會長が認めた時、又は會員多數の要求があつた場合、會長は臨時に招集しなればならない。

- 第二節 幹事会

第二節 幹事会

- 第十条 幹事会は、運営機関として左記の事項の承認を経たのちこれを実行する

- 四、その他、第五条によって必要と認めた事項。
- 第十一条 幹事会の招集は幹事長が行ない、年三回以上、

- た、幹事長は幹事の三分の一以上の要求があった場合は、臨時に幹事会を招集しなければならない。計各二名、その他、必要とする役職を置き幹事会の互選により選出する。

- 第十二条 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。

- 第十三条 本会は各地区に支部会を設け、本会の目的達成の推進を図る。
- 第十四条 支部の運営については、本規約に準じ細則は各支部によるものとする。

- 第二十八条 正会員は卒業時に終身会費一万円を納入する。
- 第二十九条 本会の会計年度は四月一日より翌年三月三十一日

- 第五十章 表彰・その他

- 第三十一条 本会に賛助したものは、会長が幹事会の議により、
総会の承認を得、これを表彰することができる。
会員として名譽を毀損する行為があつたときは、

- 会長が幹事会の議を経て総会の承認をえ、これを除名することができる。

- 第三十二条 本会に顧問をおくことができ、顧問は会長がこれを委嘱し、本会運営上の諮問に応える。

- 第三十三条 規約の改廃については幹事会の議により、総会の

- 第三十四条
昭和三十六年三月十一日

- 改正施行 昭和四十七年四月一日
改正施行 昭和五十三年四月三十日
改正施行 平成十一年十月二十三日

- | | |
|------|-------------|
| 改正施行 | 平成十四年十月十九日 |
| 改正施行 | 平成十七年十月二十一日 |

- 改正施行 平成十八年十月二十日

第51期生同窓会入会金の納入のお願い

日本大学三島高等学校同窓会では、第51期生の入会にあたり、同窓会規約第28条にもとづいて、終身会費として1万円を納入するをお願いしています。方法については、高校卒業時に「諸経費預かり金」より納入することになりました。ご理解、ご了承くださいませよう願います。

日本大学三島高等学校 同窓会会報 第40号

平成23年3月1日発行 発行者：今井信之 編集：事務局

〒411-0033 静岡県三島市文教町2丁目31番145号

TEL 055 (988) 3500 (高校事務課) FAX 055 (988) 3517

<http://www.nu-mishima-dousou.jp/>